

08 年秋の集中

下ゴトウジ沢～米子頭山～巻機山

西村 L、後藤、斉藤、橋立（記）

今回は、釣りも楽しみつつ沢を遡行するという
ことで、通常 1 泊 2 日の沢を 2 泊 3 日で遡行す
る計画とした。釣りに関しては、大物は釣れな
かったものの、4 人には十分すぎる数のイワナ
が思うように釣れたので満足している。但し、
今回予定していた上ゴトウジ沢は道間違いとい
う初歩的なミスで遡行することができず、上ゴ
トウジよりもさらに簡単な下ゴトウジ沢を遡行
することになり、沢登りとしては不満の残るも
のになった。コースを間違えたことにより、最
終日は予定外の厳しい藪こぎをしいられ、藪こ
ぎが今回の沢旅の核心となった。

9/13 曇り



朝 7 時に「民宿やぐら」さんに、八木沢ダムか
ら渡し船で奈良沢川のバックウォーターまで送
ってもらう。所要時間は 10 分。

入渓してからは単純な川原歩きが続く。岩に
はヌルヌルの苔が張り付いていて滑り易いので、
ゴム底の靴の場合は注意が必要だ。そこから上
ゴトウジ沢出会いを目指す。三石沢と思われる
沢を過ぎ、上ゴトウジ沢に入ったと、その時
は何の疑いもなく思っていたが、実は奈良沢川
の本流を突き進んでいた・・・)

このあたりは激しく崩落しており景色は良
くない。少し進んだところで小さな滝に出会う。
ガイドに記されている F1 か？と思ったが、そ
れにしては小さく、ロープを出さずに難なく越
えられた。ということは、この先にまだ滝があ
るはずだ・・・しかし一向に滝が出てこない。
(実は上ゴトウジは通りこしてしまっていたの

だからあるはずがない)。この時点で、まっとう
な沢屋ならば道間違いと気がついて良かったの
のだが、崩落がひどかったので、恐らく滝は埋
まってしまったのだらうと、みんなで勝手に結
論付けて、どんどん先に進んでしまった。

今回の沢は日程に余裕があるし、明日は雨で
釣りにならないかもしれないので、釣れるうち
に釣ろうということになり、11 時にはテン場を
見つけ、午後いっぱいには釣りに没頭すること
となった。何匹釣れたかは忘れたが、いそうな流
れに毛鉤を流すと、たいいてイワナが食いつい
てくれた。この日の夜は、他の皆さんが釣った
のを合わせて、飽きるほどイワナを食べた。こ
の時点では、だれも道を間違っていることに気
がついておらず、気持ちよく酒に酔って穏やか
な時間を過ごしていた。

9/14 晴れ

7:30 にテン場を出発。前日釣りあがったところ
をなぞり返し、ブサノ裏沢の出会いまで遡行し
た。(実はここが下ゴトウジ沢の出会いだっ
た!) ここまで、テン場から 1 時間弱。先を急
ぐ旅ではない。行程からすると、まだ余裕があ
るので、ここに荷物をデポして昼までまた釣り
をすることにした。ある程度釣ったら、それな
りに釣れて、そのうちに飽きてしまったので、
私は 2 時間もしないうちに沢の出会いに戻った。

みんなが戻ってくるまで、昼寝をしたり、地
図眺めたり、GPS をいじったり、地図で現在地
確かめてみたりしていた。「そうそう GPS があ
るからなにも、原始的な地図とコンパスに頼ら
なくても、正確な現在地が分かるやん」と、こ
こで真面目に GPS と広域の地図を見比べてみ
た。ここは上ゴトウジ沢、そしてここがブサノ
裏沢出会い・・・ん！何かおかしい。GPS の地
図上で、南西にあるべきはずの米子頭山が、北
西に位置している。もう一回地図を眺めて、ま
た GPS を見る。もしかして間違い？そんなわ
けはない、道に迷わないように GPS で位置を
確認してきたのだから・・・と疑いつつも、こ
こでやっと道に間違ったことをうすうすと気づ
き始め、そして認め、落ち着かないままみんな
の帰りを待った。ぼちぼちと、みんなが帰って
きて、地図と GPS とコンパスを駆使し、現在

地が、ブサノ裏ではなく、上ゴトウジであることをみんなで確認した。まだ、上ゴトウジに戻ろうと思えば戻れる距離にあったが、時間を釣りでロスしてしまっし、気分的に戻るのは重苦しいと思い、予定を変更して下ゴトウジ沢を遡行することにする。

下ゴトウジは、その日西村さんと斉藤さんが釣り上がっており、26、7cmのイワナを何匹か釣っていた。沢自体は小さく、登るに従い水の流れが細くなっていく。滝もないし、高巻きも全くないので、この沢は沢登りの対象としては全く魅力がない。沢は細く、水量は無いものの、兩岸は立っていて、テン場は限られてしまう。尾根に上がるには時間が足りない。結局この日は3時間ほど沢を登り、かろうじて見つけた流れの脇の一段上がったところを整地して、なんとかテント一張りの場所を確保し泊まり場とした。この夜も、何とかわずかな薪をあつめて焚き火も出来たし、昼間釣った岩魚を食べることも出来た。とても月がきれいな夜だった。



2日目テン場

9/15 曇り

7:30にテン場を出発。朝から、米子頭を目指し登る。じきに水は涸れ、藪が濃くなる。ここから1時間弱の藪こぎでピークに到着。後藤さんは、学生時代に冬場にこのピークを踏んだらしい。でも、夏場にこのマイナーな米子頭のピークに訪れる人は稀だろう。下ゴトウジ沢を詰めて踏む人はなおさらないだろう。

米子の頭からは登山道を伝って、集合場所の巻機まで、2、3時間で着くだろうと読んでいた。しかし、地図上にある登山道はなくなっており、巻機までの全行程において、濃い藪の中を進むことになった。笹、シャクナゲ、ハイマツなどが生い茂りなかなか前に進めない。霧に包まれ

ていて、景色は楽しめなかったが、陽が差す猛暑の中での藪こぎを思えば、景色などどうでもよい。ここからは、先頭を交代しながら藪をかき分けて進む。進んでも進んでも、藪は果てしなく続く。約5時間かけて、巻機に到着。集合時間から30分ほど遅れたが、絶望的な藪こぎから開放されたことが何よりもうれしく、みんな笑顔で握手を交わした。



藪が薄くなったところでしばし休憩

~今回の沢を振り返って~

今回は道間違いにより、目的の沢を登ることは出来なかった。その結果、厳しい藪こぎで大変な苦勞をし、集合時間にも遅れてしまった。今後、同じ失敗を繰り返さないためにも、下記に気をつけたい。(殆どの皆さんは実行されていると思うが・・・)

- 地形図を持つことは必ず携行する。誰かが持ってくるからいらないということはない。必ず個人で一枚は持ちたい。
- 地図を持っているだけではだめで、確実に現在地を確認しながら進むこと。人が言うことを鵝呑みにせず、必ず自分でも現在地を確かめたい。
- GPSを持っていても、GPSの背景地図は粗く情報が限られる。(私の持っているものは、英語標記で沢の名前までは標記されない。)GPSは必ず地形図とセットで持つべきだし、出来れば事前にGPS上にポイントを打っておくなど準備をしておくべき。

今回は、あまりにもレベルの低い、道間違いという失敗をしたが、今後こういうことがないよう、今回の経験を今後生かしていきたい。